

## 8 用語解説

「やまぐち産業イノベーション戦略・第1次改定版」に掲載されている用語のうち、専門的な用語、十分に定着していない用語などについて、その解説を記載しています。

なお、用語の右側に付している頁番号は、以下の用語が掲載されている頁を示しています。

### 【あ】

#### ■IoT（アイオーティー）[P5,6,10,14,15,26,27,28,29,49,50,52]

Internet of Things の略。「モノのインターネット」と呼ばれ、自動車、家電、施設などあらゆる「モノ」がインターネットに接続することで、それらの「モノ」の情報をやり取りすることが可能になる仕組み。

#### ■IoT ビジネス創出支援拠点 [P26,27,28,29]

県内中小企業におけるIoT等未来技術を活用した新たなビジネスの創出を促進することにより、県内ものづくり企業等における生産性の向上と新たな付加価値の創出を図る拠点施設。県産業技術センターに整備・運営されており、「スマート★づくり研究会」等の活動を通じて、事業アイデアの創出や技術検証等の支援等を行うとともに、未来技術を活用した新商品・サービス等の開発に対する支援を行う。

#### ■i-Construction [P27,28,29]

「ICTの全面的な活用（ICT 土工）」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取組のこと。

### 【い】

#### ■イノベーション [P1,2,3,5,6,7,9,10,14,17,26,27,28,30,31,32,33,34,35,36,38,48,49,50,51,52]

新しいものを生産する、あるいは既存のものを新しい方法で生産すること等を指す。例としては、新製品・新技術の開発、新生産方法の導入、新たな市場の開拓などが挙げられる。イノベーションの創出は、新たな技術やアイデアをもとに競争力ある製品、商品、サービス等を市場に送り出し、経済社会に大きなインパクトを与える。本県においては、地域の企業・大学・支援機関等が連携し、共同研究等を通じて新技術・新事業等を次々に創出し、地域経済に大きな波及効果をもたらすことを目指している。

#### ■イノベーション推進センター [P35]

医療関連、環境・エネルギー、バイオ関連分野における県内企業等の研究開発プロジェクトを支援する機関。（地独）山口県産業技術センター内に設置されている。

### 【う】

#### ■宇宙産業 [P2,10,14,17,38,50,52]

人工衛星やロケット等を製造する「宇宙機器産業」と、衛星データを活用したサービスの提供を行う「宇宙利用産業」の総称。

#### ■宇宙データ利用推進センター [P14,31,38,39,50]

宇宙データを活用した事業化支援等を行う宇宙利用産業創出拠点のこと。地方独立行政法人山口県産業技術センター内に設置されている。

### 【え】

#### ■AI（エーアイ）、人工知能 [P14,15,26,27,28,29,40,41]

Artificial Intelligence の略。「人工知能」のこと。知的な機械、特に、知的なコンピュータプログ

ラムを作る技術等のこと。

#### ■衛星データ解析技術研究会 [P14,38,39]

産学公連携により、衛星リモートセンシングデータを防災をはじめ、農林・環境等の分野に応用する技術開発を行う研究会。研究会では山口大学応用衛星リモートセンシング研究センターと連携して、衛星データを活用した新たな商品開発やサービスの創出に取り組んでいる。事務局は、(地独) 山口県産業技術センター。

#### ■エビデンス [P40,41]

「証拠」「根拠」の意味で、保健、医療等の分野では、「信頼性の高い臨床研究による実証結果」や、ある治療法等が病気・症状に効果があることを科学的に示した結果・成果のことを指す。

#### ■M&A [P42,43]

Mergers (合併) and Acquisitions (買収) の略。企業の合併買収を指す。近年は、後継者の不在や事業継続に悩みを抱えている事業者の第三者承継、事業引継ぎの手段としても注目されている。

#### 【お】

#### ■オープンイノベーション [P2,3,9,17,30,31,32,33,41,48,49,50,51,52]

積極的に内部と外部の技術やアイデアなどの交流等を行うことによりイノベーションを創出することやその方法論のこと。例としては、企業や大学、公的機関等がそれぞれ保有する技術、アイデア、ノウハウ等を持ち寄り、新たな技術、製品、サービスの開発等を行うこと。

#### 【か】

#### ■カーボンニュートラル [P1,9,24]

社会の構成員が、自らの責任と定めることが一般に合理的と認められる範囲の温室効果ガス排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部を埋め合わせた状態をいう。

#### 【き】

#### ■九州二輪車・自動車生産振興会議 [P33]

九州各県で組織され、開発から生産までを一貫して担える自動車関連産業の先進的生産拠点の構築を目指す会議体。会議では7県合同事業の実施のほか、各県の事業への相互参加を促進している。

#### 【く】

#### ■グリーン成長戦略（「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」） [P9]

令和2年（2020年）10月、経済産業省が中心となり、関係省庁と連携して策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」のこと。菅政権が掲げる「2050年カーボンニュートラル」への挑戦を、「経済と環境の好循環」につなげるための産業政策。

14の重要分野ごとに、高い目標を掲げた上で、現状の課題と今後の取組を明記し、予算、税、規制改革・標準化、国際連携など、あらゆる政策を盛り込んだ実行計画を策定している。

#### ■クロステックイノベーション [P27,28]

ICT技術の活用を基軸とした産業界でのイノベーション。本戦略では、県の強みである高度技術等とデジタル技術の融合等による企業現場における生産性の向上や新たな付加価値の創出のことを指す。

#### 【け】

#### ■CASE（ケース） [P7,11,32]

自動車産業において、電動化や自動運転など、次世代自動車の普及・拡大をもたらす、大きな技術・サービスの革新的な進展のことを指す。(ドイツのダイムラー社が提唱)

「Connectivity」: インターネット等を活用した外部・相互接続性の向上、「Autonomous」: 自動運転、

「Shared & Services」: カーシェアリングなど多様なニーズ等、「Electric」: 車の動力源の電動化

## 【こ】

### ■高規格幹線道路 [P22,23]

一般的に自動車が高速で走ることのできる構造で造られた自動車専用道路のこと。

### ■港湾運営会社 [P18,19]

国際戦略港湾及び国際拠点港湾において、複数の埠頭を港湾管理者から借り受け、民間のノウハウを活かした一体的かつ効率的な埠頭運営を行うことを目的とした民間事業者のこと。港湾法に基づき、国の同意を得て港湾管理者である山口県が指定する。

### ■国際バルク戦略港湾 [P11,18,19,48]

我が国の産業や国民生活に欠かせない鉄鉱石、石炭、穀物等のばら積み貨物（バルク貨物）の世界的な獲得競争が進展する中、大型船による一括大量輸送が可能となる拠点的な港湾機能を確保することで、これら物資の安定的かつ安価な輸送を実現することを目的とした港湾。山口県では石炭部門で徳山下松港・宇部港が選定されている。

### ■コンテナターミナル [P18,19]

コンテナの海上輸送と陸上輸送を結ぶ接点となる港湾施設の総称。

## 【さ】

### ■再生・細胞治療研究センター [P12,13]

県との連携の下、山口大学に平成28年（2016年）11月1日に設置された、肝臓再生療法・がん免疫細胞療法の確立および細胞培養技術の確立と事業化をめざす研究開発拠点のこと。医療用細胞培養装置の自動化を含む細胞培養関連技術の開発・産業化に加え、大学院課程「再生医療・細胞療法のための臨床培養士育成コース」における高度専門人材育成により、次世代先進医療の実現とともに産業創出と地方創生に大きく寄与することを目的としている。

### ■サテライトオフィス [P46,47,51]

企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。本拠を中心としてみた時に衛星（サテライト）のように存在するオフィスとの意から名付けられた。

### ■サプライチェーン [P1,2,8,9,16]

原材料や部品の調達から製造、販売までの製品の全体的な流れのこと。それぞれが鎖のようにつながっていると例えられるため、「チェーン」と呼称される。

### ■三密 [P1]

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、避けることが重要な「三つの密」の略で①換気の悪い「密閉」空間、②多数が集まる「密集」場所、③間近で会話や発声をする「密接」場面のこと。

## 【し】

### ■GMP、GMPカレッジ [P30,31,51]

Good Manufacturing Practiceの略。高品質の医薬品を安定して製造するために、原材料の受け入れから製品の製造、出荷までの全ての工程を管理する基準のこと。GMPカレッジは、学生や企業内人材を対象に、県の強みである医薬品産業力の更なる強化に向け、産学公連携によるGMPに関する人材育成を目的とした人材育成プログラムを作成・実施する取組（セミナー等）のこと。

### ■CO2（二酸化炭素削減）・利活用技術 [P24,25,34]

CO<sub>2</sub>を資源ととらえ、素材や燃料に再利用することで大気中へのCO<sub>2</sub>排出を抑制する技術のこと。（「カーボンリサイクル」技術、「CCUS（Carbon（二酸化炭素）Capture（回収）Utilization（利用）Storage（貯留）」。）CO<sub>2</sub>の利用先としては、化学品、燃料、鉱物等が想定されている。

#### ■次世代型コンビナート [P24,25]

原料や副生物（水素等）、エネルギー（電気、ボイラー等）の有効活用や共同利用、製品の高付加価値化、IoTを活用した生産システムの統合や出荷基地の相互利用など、企業や地域の垣根を超えた取組の実施により、これまで以上に連携を進めた国際競争力の高いコンビナートのこと。

#### ■施設整備 10か年計画 [P20,48]

工業用水の安定供給のため、工業用水道施設の劣化状況を的確に把握した上で更新時期及び事業費の平準化を図ることにより、施設の老朽化・耐震化対策を計画的、重点的に推進することを目的として、県企業局が策定した10か年計画のこと。

#### ■JICA（ジャイカ） [P6,44,45,52]

国際協力機構（Japan International Cooperation Agency）。2003（平成15）年10月1日に前身の国際協力事業団を引き継いで設立された外務省所管の独立行政法人で、政府開発援助（ODA）の実施機関の一つ。開発途上地域等の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的とする。

#### ■社会連携講座 [P40,41]

6者合意に基づく地域コホート研究の推進主体として山口大学医学部に開設（8/19）。高齢者の介護予防をテーマとした地域コホート研究を行うもので、山口市阿知須地域における地域コホート（軽度認知障害者への運動介入等の効果、認知症と腸内フローラの関連性の研究）研究を行う。

#### ■JAXA [P2,8,14,38,39]

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（Japan Aerospace Exploration Agency）。政府全体の宇宙開発利用を技術面で支える中核的实施機関で、宇宙開発利用分野の基礎研究から開発・利用に至るまで一貫して行う機関。山口県には、平成29年（2017年）2月に、西日本における衛星データの防災利用等に係る連携拠点として、衛星データの利用・研究を推進するJAXA「西日本衛星防災利用研究センター」が山口県宇部市の（地独）山口県産業技術センター内に設置。

#### ■重点成長分野 [P1,2,3,7,9,10,16,17,30,31,38,46,47,48,52]

本県が今後、重点的に伸ばしていくべき成長分野を9分野に明確化したもの。（基礎素材型産業、輸送用機械関連産業、医療関連産業、環境・エネルギー関連産業、航空機・宇宙産業、水素エネルギー関連産業、バイオ関連産業、ヘルスケア関連産業、IoT等関連分野）

第1次改定版においては、IoT等関連分野は未来技術関連分野とし、近年のデジタル技術の進展に対応することとしている。

#### ■周南市水素利活用協議会 [P36]

周南コンビナートで生み出される水素エネルギーをまちづくりに活かすことを検討するため、企業関係者、商工関係団体、学識経験者、国、県、市や専門的な機関との連携の下、水素ステーションを核とした水素エネルギーの利用形態や需要量を調査・検討、まちづくり全般における、水素の利活用方策等について協議・検討する協議会。

#### ■新型コロナウイルス感染症、新型コロナウイルス、コロナ禍、コロナ [P1,5,9,26,30,44]

新型コロナウイルス感染症とは、インフルエンザや風邪に似た初期症状で、患者の約20%が肺炎となり、約2%が死亡に至る新型コロナウイルスによる感染症のこと。2020年3月11日にWHOによりパンデミック（世界的大流行）に至っているとされ、2021年1月に感染者数の累

積が1億人を超えた。

新型コロナウイルスとは、風邪や重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）の原因となる「コロナウイルス」の一種で、2019年12月に中華人民共和国武漢市での肺炎患者の集団発生により確認された。

コロナ禍とは、新型コロナウイルス感染症の流行による社会経済の危機的状況等のこと。

## 【す】

### ■水産インフラ輸出構想 [P44,45]

2016（平成28）年10月に策定。漁獲、加工など一連の水産関連企業の立地がある本県の強みを活かし、漁獲から流通に至る一連の鮮度管理システムの導入に高いニーズがあるベトナム等アセアン地域に対して、パッケージでインフラ輸出を行い、関連企業の業績拡大を通じた県経済の活性化を図ることを目的とした県内企業、県で構成される研究会。

### ■スタートアップ企業 [P5,6,9,42,43,51]

研究開発等による新製品・新技術の開発等（イノベーション創出）を通じた社会貢献や急激な成長が見込まれる企業等のこと。

### ■スマートコンビナート [P24,25,27,29]

5G、AI、IoT等デジタル技術を活用したプラントの運転監視、設備保全等を行うコンビナートのこと。

### ■スマート★づくり研究会 [P15,31]

県及び山口県産業技術センター主催により、県内企業等によるIoT等を活用した新たなビジネスの創出や、Factory, Work, Product, Service など（＝★）のスマート化促進に向けた取組を進めるため設立した研究会のこと。

### ■スマート農林水産業 [P27,28,29]

ロボット技術やICTを活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農林水産業のことを指す。

### ■スマートファクトリー [P15,27,28,29]

企業における人手不足や生産性向上等の課題解決を図るため、5GやAI等の未来技術を導入・利活用する工場・生産現場（ファクトリー）のこと。

### ■3R（スリーアール）[P49]

リデュース（Reduce：発生・排出抑制）、リユース（Reuse：再使用）、リサイクル（Recycle：再生利用）のこと。

## 【せ】

### ■生命医工学研究センター [P13]

医学とサイエンスの融合専攻を基にした先進的な医工学の知の拠点を形成するため、医学と工学の境界領域で活躍する研究者による、医薬と医療機器開発を進める研究開発拠点。

### ■石油精製のボトムレス化 [P24]

石油精製は、原油を精製して燃料や化学製品などを製造するプロセスであり、ボトムレス化は、その過程で、残油等を出さないようにする「石油資源を有効に使い切る対策」のことを指す。

### ■石油・石油化学・化学産業 [P24]

石油産業とは、石油の輸送、精製、販売等を行う産業。化学産業とは、原料に化学反応を施し、加工することによって製品を製造する産業。このうち、石油や天然ガスを原料として、合成樹脂や合成繊維などを製造する産業を石油化学産業という。

### ■瀬戸内基幹企業 [P1,2,3,16,22,30,31]

本指針においては、瀬戸内海沿岸に集積するコンビナート企業等をはじめとする本県の経済、雇用を牽引している企業のことを指す。

## 【た】

### ■多結晶シリコン [P12]

パソコンや家電製品の頭脳となる I C チップや太陽電池の材料となる物質のこと。

## 【ち】

### ■地域経済牽引事業 [P6,43,52]

地域未来投資促進法に規定する、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する相当の経済的効果を及ぼすことにより、地域における経済活動を牽引する事業のこと。

### ■地域経済牽引事業計画 [P6,42,43,52]

地域未来投資促進法に基づき、県と市町が策定した基本計画の内容（地域の特性及びその活用戦略等を示したもの）に基づき、事業者が地域経済牽引事業の内容を計画・作成し、都道府県知事の承認を受けたもの。承認された事業計画については、税制による支援措置（先進的な事業に必要な設備投資に対する減税措置等）等がある。

### ■地域高規格道路 [P22,23]

高規格幹線道路を補完し、地域道路ネットワークの軸を形成する、連携・交流・連結のいずれかの機能を持つ道路のこと。

### ■地域循環圏 [P49]

地域の特性や循環資源の性質に応じて、最適な規模の循環を形成することが重要であり、地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させ、地域での循環が困難なものについては循環の環を広域化させていくという考え方。

### ■地域中核企業 [P1,2,3,6,8,16,17,25,28,30,31,42,43,46,47,48,49,50,51,52]

地域の特性を生かして、高い付加価値、経済効果を創出し、地域の経済成長・雇用を牽引する企業のこと。具体的には、域外への販売や域内仕入の割合が高い、成長性や従業員増加率が高い中堅・中小企業を指す。

### ■地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム [P42,43,46,47,51]

県経済を牽引する「地域中核企業」の創出・成長を官民共同で支援するため、県、地域金融機関及び関係機関等で構成するワーキングチームのこと。企業訪問による経営・技術的課題、ニーズの把握及び整理、多様な公的・民間支援メニューを活用した総合的なサポートを行う。

### ■地域未来牽引企業 [P16,42]

地域内外の取引実態や雇用・売上高を勘案し、地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手、及び担い手候補である企業を国（経済産業省）が選定するもの。全国で 4,743 社選定（うち山口県は 74 社）（令和 2 年（2020 年）10 月公表時点）

### ■地域未来投資促進基本計画 [P42,43]

地域未来投資促進法は、地域の特性を活用した事業の生み出す経済的効果に着目し、これを最大化しようとする地方公共団体の取組を支援するもの。国の基本方針に基づき、市町村及び都道府県は、「対象となる区域（促進区域）」「経済的効果に関する目標」「地域の特性×推進したい分野」「地域経済牽引事業の要件」「事業環境整備の内容」を記載した基本計画を策定し、国から同意を受けることとなっており、事業者は、同意された基本計画に基づき、地域経済牽引事業計画を策定する。

### ■地域未来投資促進法 [P2,3,4,42,43,46,47]

「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」の呼称。地域の特性を生かして、高い付加価値を創出し、かつ、地域の事業者に対する相当の経済的波及効果を及ぼすものである「地域経済牽引事業」を促進するため、「企業立地促進法」の一部が改正されたもの（法律名についても改正）。なお、令和2年(2020年)10月には、地域経済牽引事業計画承認企業に対する新たな支援措置等を盛り込んだ改正法が施行されている。公布：平成29年(2017年)6月2日、施行：平成29年(2017年)7月31日、改正：令和2年(2020年)10月1日)

#### ■地域連携・低炭素水素技術実証事業 [P37]

環境省事業。水素の低炭素化と本格的な利活用を通じ、中長期的な地球温暖化対策を推進することを目的とし、低炭素な水素サプライチェーンの実証を行う事業のこと。本県では、平成27年度から周南コンビナートに立地する苛性ソーダ工場から発生する未利用で高純度な副生水素を回収し地域で多面的に利用する「地産地消モデル」と、当該水素を液化し広域に輸送して利用する地域間での水素需給モデル（「地域間連携モデル」）を実証中。

#### ■中高温微生物研究センター [P13]

中高温域で活発に活動する微生物の機能を活用し、地球温暖化に伴うエネルギー枯渇・食料危機・感染症対策・環境保全・生態系維持等の課題解決に向けた研究を行う山口大学の研究開発拠点。

#### ■中小企業・SDGsビジネス支援事業 [P44,45]

国際協力機構（JICA）の支援事業の一つで、案件化調査（技術・製品等の活用可能性を検討し、ビジネスモデルの素案を策定）及び普及・実証・ビジネス化事業（技術・製品・ビジネスモデルの検証や普及活動を通じ、事業計画案を策定）が主な内容。SDGsは、「持続可能な開発目標」を意味する。

#### 【て】

#### ■デジタル化 [P1,5,9,10,30]

情報通信技術の進歩により、アナログ情報をデジタル情報化すること。また、そうした技術を活用して、様々なヒト・モノ・コトの情報がつながることで、競争優位性の高い新たなサービスやビジネスモデル等を実現すること。

#### ■デジタル人材 [P27,28,29,50]

本戦略では、5G、AI、IoT、ビッグデータなどの先進デジタル技術を担うことのできる高度産業人材のことを指す。

#### ■デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation（DX）） [P1,2,3,10,17,26,27,28,32,33,50,51,52]

ウメオ大学（スウェーデン）のエリック・ストルターマン教授が2004年に提唱した概念であり、ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

産業面では、例えば、製造業が製品（モノ）から収集したデータを活用した新たなサービスを展開したり、自動化技術を活用した異業種との連携や異業種への進出をしたり、シェアリングサービスが普及して、モノを所有する社会から必要な時だけ利用する社会へ移行し、産業構造そのものが大きく変化していくことが予想される。

#### 【と】

#### ■特殊車両通行許可制度 [P22,23,48]

道路の保全と交通の危険防止を図るため、一定の寸法や重量等を超える車両は、通行を制限しているが、物流の効率化等を目的に制限値を超えた車両について「特殊車両」として道路管理者が許可し通行できることとしている制度のこと。

## 【に】

### ■西日本衛星防災利用研究センター [P8,14,38,39]

JAXAの衛星データの防災等利用・研究推進に係る連携拠点。2017(平成29)年2月に山口県宇部市の(地独)山口県産業技術センター内に設置された。

### ■二部料金制 [P20,21,48]

工業用水の料金制度の一つ。契約水量に基づく、「基本料金」と使用量に応じた「使用料金」からなる制度で、受水企業にとっては、節水努力が料金に反映されやすい仕組み。

⇨「責任水量制」：実給水量ではなく、「契約水量」に基づき料金を決定する制度。

## 【は】

### ■バイオ、バイオ関連産業 [P1,2,7,8,10,12,13,17,34,35,49,52]

微生物や菌類など、生物が行う化学反応、あるいはその機能を工業的に利用・応用する技術のことで、発酵・醸造技術や遺伝子組み換え等により、医薬品・食品の製造、環境の浄化、エネルギー生産など幅広い分野に応用されるもの。また、それに関連する技術等を用いた産業分野のこと。

### ■バリューチェーン [P8]

消費者に製品等の「価値」が届けられるまでの過程において、企業間で付加されていく価値の「つながり」を示す考え方のこと。(例：水産バリューチェーン：漁獲・加工・販売等の一連の工程等)

## 【ひ】

### ■ビッグデータ [P15,29,41]

事業等に役立つ知見を導き出すための大容量のデータのこと。データの容量、規模については、典型的なデータベースソフトウェアが把握・蓄積・運用し分析可能な能力を超えたサイズを指す。

## 【ふ】

### ■ファーストポート [P18]

入国や、荷揚げ等のため、最初に入港する港のこと。

### ■5G(ファイブジー) [P14,15,26,27,28]

第5世代移動通信システムのこと。(GはGeneration(世代)のことを指す。)超高速だけでなく、「多数接続」や「超低遅延」といった新たな特徴を持つ。デジタル化が進む時代、社会の中で重要な情報通信基盤となるものであり、その実現により、コミュニケーションの在り方の変化や、新たなビジネスの進展に繋がることが期待されている。

### ■5G基盤展開率 [P29,52]

10kmメッシュ毎に、5Gエリア整備の基盤となる5G高度特定基地局(親局)が整備されている地域の割合を示す指標のこと。

### ■プロフェッショナル人材戦略拠点 [P27,29,30,31]

都道府県に設置される各地域を支える企業が事業革新や新商品開発などの取組に積極的にチャレンジする「攻めの経営」への転身を図っていくため、地域の関係機関等と連携しながら、企業の転身を後押しするとともに、それを実践していくプロフェッショナル人材の活用について、経営者の意欲を喚起し、民間人材ビジネス事業者等を通じてマッチングの実現をサポートする支援拠点。本県では公益財団法人やまぐち産業振興財団内に設置されている。

## 【へ】

### ■ベトナム国キエンザン省 [P44,45]

北はカンボジアとの全長56.8kmに及ぶ国境に接し、西はタイランド湾に面し、ホーチミン市(人口約800万人)から西南に250kmに位置する、人口約176万人、面積6,348km<sup>2</sup>(山口県とほぼ同じ)の都市。省都はラックザー。主な産業は農業と漁業。農業は、コメやココナッツ、

パイナップルの栽培が盛んであり、漁業は、水揚げ量年間約45万トンでベトナム第1位である。  
(下関漁港の水揚げ量約3万トン)

#### ■ヘルスケア(関連産業) [P2,10,14,15,17,40,41,49,50,52]

病気の予防、健康増進などの分野、また、様々なサービスを担う産業や、そのようなサービスで使われる医療機器、福祉用具、介護用品、医薬品、健康食品などの製造業を含む産業のこと。

#### 【ほ】

#### ■ポートセールス [P18,19]

港湾施設をより多くの利用者に活用してもらうためのセールス活動。(セミナー、説明会等)

#### 【ま】

#### ■MaaS(マース) [P27,28,29]

Mobility as a Service のこと。ICTを活用して交通をクラウド化し、モビリティ(移動手段)を一つのサービスとして捉え、つないでいく新たな移動の概念。利用者はスマートフォンのアプリケーションを用いて交通手段やルートを検索、利用し、運賃等の決済を行うことが多い。

#### ■マザーファクトリー [P7]

製品開発・製造等において、中心的な役割を担う工場や拠点のこと。

#### 【み】

#### ■未来技術 [P2,4,9,10,14,15,25,26,27,28,29,46,50,52]

Society5.0の実現に向けた技術のことで、IoT、ビッグデータ、AI、5G、ロボット等の様々な技術のこと。なお、技術の進展や普及には段階も必要であるため、現在既にある技術であっても、地域の課題解決につながり、中長期的にSociety5.0の実現に資するものであれば、積極的に未来技術として推進していくことが必要とされている。

#### 【や】

#### ■やまぐちR&Dラボ(アールアンドディーラボ) [P25,30,31,32,33,51]

県内の大手企業、中小企業等が参画した県内企業研究者等による技術交流や共同研究等を行うための機能構築、技術交流プラットフォームのことを「研究開発室(Research And Development Laboratory)」に例えて呼称する。

#### ■やまぐちIoT導入サポーター [P27,29]

県内地域中核企業等のIoT等未来技術の研究開発・活用を促進することにより、県内のものづくり企業等における生産性の向上と新たな付加価値の創出を図る。本県独自のサポート制度として、最先端技術、ノウハウ等を有する国内大手IT企業等(12社※R2現在)をサポーターとして登録・派遣し、ニーズに応じた技術的アドバイス等、個別サポートを実施する制度のこと。

#### ■やまぐちOB等人材バンク [P30,31]

県内中小企業等の研究開発力・技術力強化や経営力・マーケティング力の向上等を促進するため、専門知識や技術等を有するOB人材と、専門人材の支援が必要な県内企業とのマッチングを、ウェブサイトを通じて行うもの。概ね55~70歳の人材を対象として、技術士や技能士等の資格を持つ者や財務・労務、マーケティング分野に知見を有する者等、幅広い分野のOB人材を登録。

#### ■山口県航空宇宙クラスター [P8,14,31,38,39,52]

航空機・宇宙機器産業において、機械加工、板金、表面処理、熱処理を得意とする企業等、共同受注グループのこと。

#### ■山口県産業技術センター [P14,15,26,35,37,43,51]

平成21年(2009年)4月に法人化した地方独立行政法人。県内企業等の「中核的技術支援拠点」

として、産業技術に関する試験研究、その成果の普及、産業技術に関する支援等を総合的に行っている。

#### ■山口県自動車産業イノベーション推進会議 [P31,32,33]

産学公金の連携の下、オープンイノベーションにより、自動車に関連した新たな技術・製品やサプライチェーンを創出することを目的に平成 31 年(2019 年)2 月に産学公金連携により設置。セミナー、展示会を実施するほか、自動車産業関連の技術検討(ワークショップ)を実施するなど、企業連携の仕組みづくりや研究開発シーズの発掘等に取り組んでいる。令和 2 年(2020 年)11 月末現在、88 企業・団体が会員。

#### ■やまぐち産業イノベーション戦略 [P1,5]

本県の高度技術、産業集積を活かした「戦略的イノベーション(技術/生産/経営革新)」の加速的な展開を図り、重点成長分野(①基礎素材型産業②輸送用機械関連産業③医療関連産業④環境・エネルギー関連産業⑤航空機・宇宙産業⑥水素エネルギー関連産業⑦バイオ関連産業⑧ヘルスケア関連産業⑨ I o T 等関連分野)の発展・拡大や、生産性、付加価値の向上による県経済の持続的成長を目指すための産業戦略の指針として平成 30 年(2018 年)10 月に山口県産業戦略本部が策定した指針。目標年度は令和 2 年度(2020 年度)までの 3 年間。

#### ■やまぐち産業イノベーション促進補助金 [P26]

やまぐち維新プランの重点的な施策の推進及びやまぐち産業イノベーション戦略の重点成長分野の拡大、発展を促すため、今後の成長が期待される、重点成長分野を対象にした研究開発等補助金のこと。

#### ■やまぐち産業振興財団 [P43,51]

中小企業の振興、産業技術の高度化、新たな産業の創出を目的とし、経営相談や技術研究開発、事業化、販路開拓など、企業の事業展開段階に応じた支援を行い、山口県の産業振興施策を総合的に実施する中核的な支援機関(公益財団)。

#### ■やまぐち次世代産業推進ネットワーク [P8,31,34,35]

本県の産業特性等を活かした付加価値の高い産業イノベーションを創出するため、これまでの医療、バイオ、環境・エネルギーの協議会・研究会を発展的に改組した推進体。本ネットワーク内に、医療、バイオ、環境・エネルギーの各部会を設け、研究機関や県内関連企業と連携した取組を推進する予定。

#### ■やまぐち水素成長戦略推進協議会 [P31,36,37]

水素ステーションを核とした周南地域での取組をモデルに、県内他地域への普及と、燃料電池自動車やフォークリフト、定置用燃料電池等の普及促進をはじめとする水素エネルギー社会の実現に向けた全県的な推進組織として、平成 26 年(2014 年)11 月 17 日に設置。水素製造事業者、水素インフラ事業者、県内関係団体や支援機関、学識経験者、中国経済産業局、全 19 市町、県等で構成。

#### ■やまぐちスマートファクトリーモデル構築事業 [P26]

本県経済を牽引する製造業の人手不足や生産性向上等の課題解決に向け、未来技術を活用した新たなファクトリーモデルを構築する事業。具体的には、県内中小企業(製造業等)に 5G や AI を活用した製造現場の高度化を図る先導的な事例創出を委託し、県内企業への普及・横展開を図る。

#### ■山口大学 AI センター [P40]

2018 年、医学系研究科・医学部附属病院に設立された、「AI とシステムバイオロジーを両輪として推進する AI システム医学・医療研究教育センター」のこと。当センターから未来のデータサイエンス医師の教育の重要性を発信し、ノウハウを樹立し共有することにより、我が国のデータサイエンス医師の競争力を高めることや医学・医療における医用 AI の技術展開の活性化を目的とする。

## ■やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会 [P15,31,40,41]

学識経験者や産業・健康分野等の関係団体、行政等で構成するヘルスケア関連産業創出に係る協議会（R3.2 設置）。関連する企業の交流・連携の場を創出していく取組の推進体。

## ■やまぐちヘルスラボ [P40,41,52]

新山口駅北地区の山口市産業交流拠点施設内に整備される「ライフイノベーションラボ」内に開設される、住民モニターを活用したヘルスケア関連製品・サービスの事業化支援や、健康関連データの蓄積、AI分析等を行う支援拠点のこと。R3.2 時点で名称等は未定。

【ら】

## ■ライフイノベーションラボ [P6,15,40,41]

新山口駅北地区の山口市産業交流拠点内に整備される医学的な視点を取り入れた運動プログラムを提供するジムやスタジオ、浴室等を完備したメディカルフィットネスが整備された施設。県はこの施設に山口市と共同で、リビングラボ（市民との共創により製品・サービスの開発や実用化支援を行う拠点）の手法を用いたヘルスケア関連製品・サービスの開発に取り組むプラットフォーム（やまぐちヘルスラボ（仮称））を設置し、製品やサービスの効果等を検証する場（「実証フィールド」）を提供することとしている。

【り】

## ■リーディング産業 [P7]

国や地域の経済成長を主導、牽引する産業のこと。

【れ】

## ■レムアイス [P44,45]

魚の鮮度保存に資する微粒子状で流動性を持った氷のこと。スラリーアイスともいう。

【ろ】

## ■ローカル5G [P15,27,28,29]

地域・産業のニーズに応じて、企業や自治体等が個別に利用できる5Gネットワークのこと。通信事業者が全国で展開する均一な5Gの通信サービスに対して、地域・企業が主体となって、自らの建物内や敷地内といった特定のエリア内で自営の5Gネットワークを構築・運用・利用することが可能。なお、利用するためには、国で指定された無線免許の取得が必要。

## ■6者合意に基づく地域コホート研究 [P40,41]

平成30年12月に島津製作所、山口大学、山口市、県の4者で締結した「健康づくり等をテーマとした技術連携に関する基本合意」を元に、花王、協同乳業を加え令和2年8月に締結した「高齢者の健康づくり等をテーマとした地域コホート研究連携に関する合意書」のこと。企業、大学、行政の連携や県民との共創による実証事業を年内に先行的に開始することとしている。コホート研究とは、共通した因子を持ち、観察対象となる集団のことで、コホート研究は、一定の期間、その集団を追跡調査すること。